瞬（ときめき）

「今」「この瞬間」輝いている
あなたを応援します

私は、猪名川町文化協会に所属する食文化研究会の仲間とともに「四條流包丁儀式」という平安時代から続く文化に携わっています。

本来、料理人（包丁人）だけが執り行う〝五穀豊穣や天下泰平〟を祈る儀式ですが、伝統を受け継ぐという行為は、どの世界においても難しく、時間と費用が掛かることもあり、儀式の後継者は徐々に減少しつつありました。

たまたま猪名川町に店を構える四條流免許皆伝の家元の声掛けで、建設業や金型加工業、医療関係者などの料理人以外でも「興味を持って受け継いでいける人」が集まって「四條猪名川流」として儀式を多くの人に知っていただき、守っていこうと活動しています。

日本古来の行事は「お相撲の土俵に女性は上がれない」、「神社の神輿や太鼓は氏子でなければ扱えない」など、様々な制限があります。

変わっていくことだけが良いとは思いませんが、守るべきは「制限」か「文化」か？と考えた時、文化が失われないような工夫が必要ではないのかと思います。

「包丁儀式」においても、女性が行うという事が異例であり、ましてや料理人でもないという立場ですが、この文化が広まって繋がっていく役に立てることが、今の私の楽しみです。

猪名川町内にも消えていきかけている文化はありませんか？守れたらいいですね。

上記の包丁儀式が、10月19日（日）午後1時30分から文化体育館小ホールで執り行われます。ぜひお越しください。

野路 志保美（のじ しほみ）さん
（50歳・内馬場）

猪名川町文化協会会員

※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

こども作品コーナー

猪名川中学校

▶ペットボトル、ぶどう、コップを描きました。透明のもの、色の濃いものと、薄いものと全く違う色や質感のモチーフを、鉛筆だけで描き分けることができました。
小林 夏子（こばやし なつこ）さん（1年）

◀初めてのデッサンで、金属のボウルとぶどう、ガラス瓶、りんごを描きました。モチーフをよく見て描いており、瓶の透明感や立体感が表現されています。
内園（うちその） 晴樹（はるき）さん（1年）

青葉の山道

三年 湊康祐

▶中学3年生という区切りの年、焦ることなく、心を落ち着かせて日々を過ごしたいという思いを込めて、さわやかな風を感じる「青葉の山道」という言葉を選びました。
湊（みなと） 康祐（こうすけ）さん（3年）

限界に挑戦

三年 平井竜之進

◀中学3年生、勝負の年になりました。自分自身の未来を思い浮かべ、高い目標に向かって、精一杯頑張るぞという決意の気持ちを力強く表現しました。
平井（ひらい） 竜之進（りゅうのしん）さん（3年）

私のオススメ★

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～

杉生・西畑地区 八坂神社「練り込み」

今月の担当ガイド

岡本 正雄（おかもと まさお）さん

町指定の民俗無形文化財に指定されている杉生・西畑地区の「練り込み」をご紹介します。

練り込みは両地区の氏神で、素戔嗚尊（すさのおのみこと）を祭神とする八坂神社の秋祭りの恒例行事。天下泰平・五穀豊穣・家内安全を祈り、幼児から高校生ぐらいまでの青少年が歌舞伎の演目や獅子舞などを演じ奉納するものです。

江戸時代から明治時代にかけて農民によって素人歌舞伎として親しまれた農村歌舞伎が原型で、現在も練り込み保存会が中心となりその伝統を受け継いでいます。

祭りの約1カ月前より保存会の方々が演技指導を重ね、宵宮・本宮を迎えます。当日は歌舞伎役者独特の化粧をプロの化粧師に施してもらい、色鮮やかな装束に身を包み、子ども達は次々と立派な役者に変身していきます。午後6時に杉生公民館前を出立し宵宮は杉生新田、本宮は西畑地区と杉生地区を代表するそれぞれの方の自宅に一行が訪問します。

「天下泰平　五穀豊穣　家内安全を願い　氏子中がそろうて悪魔払いのお宮入り　にわか思いついたる練り込みをにわか練り申す　がってんかそれ」の掛け声とともに「ドンチチチ、それ、ドンチチチ…」と笛太鼓が鳴り出し、子ども達が所作を開始、最終的に神社を目指します。

宮入り後、全員が神殿に参拝、ここでも口上を述べます。早速、長床とよばれる舞台では門付け芸の獅子舞が始まり、順次、最年少の提灯隊もち、赤襦袢（あかじゅばん）や三番叟（さんばそう）などで、行列の最後尾は忠臣蔵（ちゅうしんぐら）の名場面を演じながら練り歩き、観客を魅了していきます。秋本番を迎えようとする里に、虫の音と共に笛や太鼓・拍子木（ひょうしぎ）で、神社の森は最高潮に達します。

その昔、北部一帯で行われていた練り込みですが、現在では杉生・西畑地区のみが、伝統文化を受け継ぎ、宝物をしっかり守り、年に一度、訪れる人の目を楽しませてくれています。

祇園祭の山車（だし）は「動く美術館」と言われますが、練り込みはおらが村の「動く子供歌舞伎座」と言っても過言ではありません。

先人が歴史を積み重ねてきた伝統文化、真に値打ちのあるものを見に行きませんか。今年は10月17日（金）宵宮、18日（土）本宮が行われます。午後7時30分頃には、神社で宮入り風景を見ることができます。

子ども達の凛々しい姿を是非ご覧になってください。

※関連記事24ページ

▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ　産業観光課　☎766－8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

栗（銀寄）（道の駅での入荷時期10月頃）

大粒で甘みが強く、風味も豊かな銀寄栗は非常に人気の高い品種です。天明の大飢饉（だいききん）の際に、この栗が多くの銀札（ぎんさつ）を集めたことから「銀寄」と呼ばれるようになったと言われています。

【選び方】　張りと艶があり、ずっしりと重いものが良いです。

【保存方法】　乾燥に弱いので新聞紙に包んで冷蔵室で保存します。風味は落ちますが、長期保存する場合は固茹でしてから冷凍すると良いです。

【皮剥き】　お湯に2～3時間漬けると鬼皮が柔らかくなって剥きやすいです。軽く茹でて冷凍したものを、解凍すると渋皮も綺麗にむけます。

10月の主な出荷野菜　生しいたけ・栗・黒枝豆・ピーマン・ネギ・里芋・小松菜・柿・さつまいも・三度豆・ほうれん草・春菊

≪10月のイベント≫

12日（日）午前10時～午後3時＝道の駅いながわ秋まつり（三木金物展示直売・包丁研ぎ、十割そばの手打ち実演・販売、海産物販売など）

▶問合せ　道の駅いながわ　☎767－8600